

歌謡教室（音楽教室における演奏等）

手続きについて

許諾方法

JASRAC が管理する著作物の演奏等による利用にあたっては、包括許諾と曲別許諾のいずれかを選択することができます。

| 1 包括許諾

JASRAC が管理する著作物のすべてについて、利用できる許諾方法です。JASRAC は、利用の申込みに基づいた契約で定める一定の条件を範囲として、JASRAC が管理する著作物のすべてについて利用許諾を行います。

この場合には（1）年額使用料 または（2）月額使用料 が適用になります。手続きにあたっては、事前に利用許諾契約申込書をご提出ください。

| 2 曲別許諾

JASRAC が管理する著作物ごとに利用できる許諾方法です。手続きにあたっては、利用日の 5 日前までに利用許諾契約申込書と利用明細書をご提出いただきますが、申込書提出と同時に利用明細書の提出ができない場合には、利用明細書の提出予定日（利用日から 5 日以内の日）を申込書に記入してください。

この場合には 1 曲 1 回の使用料が適用になります。なお、申込書記載内容に基づいた使用料をあらかじめお支払いいただく場合があります。

| 注意事項

- ・カルチャーセンター等複合講座の中で歌謡教室を行う場合は[こちら](#)
- ・カラオケ大会、カラオケ発表会等の催物を行う場合は[こちら](#)
- ・歌謡教室内でご利用になる目的で、市販・レンタル CD やダウンロードした音源を、その他のメディアや携帯端末に複製する場合は[こちら](#)
- ・歌詞カードをコピーする場合は[こちら](#)

使用料

使用料規程では、包括的許諾契約を結ぶ場合の使用料と、曲別許諾契約を結ぶ場合の使用料のそれぞれを定めています。

【資料】使用料規程（音楽教室における演奏等）

お支払い

原則として、使用料は支払月の 20 日に自動的に引き落とされる預金口座振替によって、お支払いいただきます。口座振替は全国の銀行、信用金庫、労働金庫、信用組合、ゆうちょ銀行、農協、漁協をご利用いただけます。

ステッカーの交付

JASRAC では利用許諾契約を締結している契約施設であることを明示するため、施設の入口などに貼付するステッカーを交付しています。



10 音楽教室における演奏等

楽器教室、歌謡教室その他の受講者に楽器演奏又は歌唱等を教授する事業を行う施設（以下「音楽教室」という。）において、当該事業とともに著作物を演奏等する場合の使用料は、本節1から9の規定にかかわらず、次により算出した金額に、消費税相当額を加算した額とする。

(1) 年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合の1施設あたりの年額使用料は、受講料収入算定基準額の2.5/100の額とする。

(2) (1)によらない場合の使用料は次のとおりとする。

① 1施設あたりの月額使用料は、下表のとおりとする。

受講者数 月間受講料	30名まで	50名まで	75名まで	100名まで	150名まで
4,000円まで	6,000円	10,000円	15,000円	20,000円	30,000円
6,000円まで	9,000円	15,000円	22,500円	30,000円	45,000円
8,000円まで	12,000円	20,000円	30,000円	40,000円	60,000円

月間受講料が8,000円を超える場合の使用料は、2,000円までを超えるごとに、月間受講料が「8,000円まで」の場合の金額に、月間受講料が「4,000円まで」の場合の金額の50/100の額を加算した額とする。

受講者数が150名を超える場合の使用料は、50名までを超えるごとに、受講者数が「150名まで」の場合の金額に、受講者数が「50名まで」の場合の金額を加算した額とする。

受講者数が10名までの場合の使用料は、受講者数が「30名まで」の場合の使用料の80/100の額とする。

② ①によらない場合の使用料は、著作物 1 曲 1 回ごとに定めるものとし、その使用料は下表のとおりとする。

(ア) 利用時間が 5 分までの使用料は、下表のとおりとする。

講座 1 回の受講料 \ 受講者数	30 名まで	50 名まで	75 名まで	100 名まで	150 名まで
1,000 円まで	150 円	250 円	370 円	500 円	750 円
2,000 円まで	300 円	500 円	750 円	1,000 円	1,500 円
3,000 円まで	450 円	750 円	1,120 円	1,500 円	2,250 円

講座 1 回の受講料が 3,000 円を超える場合の使用料は、1,000 円までを超えるごとに、講座 1 回の受講料が「3,000 円まで」の場合の金額に、講座 1 回の受講料が「1,000 円まで」の場合の金額を加算した額とする。

受講者数が 150 名を超える場合の使用料は、50 名までを超えるごとに、受講者数が「150 名まで」の場合の金額に、受講者数が「50 名まで」の場合の金額を加算した額とする。

受講者数が 10 名までの場合の使用料は、受講者数が「30 名まで」の場合の使用料の 80/100 の額とする。

(イ) 1 曲 1 回の利用時間が 5 分を超える場合の使用料は、5 分までを超えるごとに、利用時間が 5 分までの場合の金額に、その同額を加算した額とする。

(音楽教室における演奏等の備考)

(演奏等)

① 演奏等とは、著作物を演奏、上映（映画フィルムを用いた上映を除く。）
又は伝達（第 12 節 BGM 規定の適用を受ける伝達を除く。）することをいう。

(年度区分)

② (1)の規定の年度区分は、4 月から翌年 3 月までとする。

(受講料)

③ 受講料とは、いずれの名義をもってするかを問わず、講座を受講するにあたり通常必要となる受講者 1 人あたりの料金（消費税額を含まないもの。）

をいう。ただし、別途特別な教材費、会場使用料及び楽器使用料の負担の明示がある場合には、その額は受講料に算入しない。

会費制等により講座ごとの受講料の定めがない場合は、当該会費収入等の範囲内で利用状況等を参酌して、受講料を算出する。

(受講料収入)

④ 受講料収入とは、講座ごとの受講料の合計をいう。

(受講料収入算定基準額)

⑤ 受講料収入算定基準額とは、前年度に当該施設で行われた本協会の管理著作物を利用した講座の受講料収入の合計額とする。ただし、本協会の管理著作物を利用した講座が特定できない場合は、音楽を利用した全ての講座の受講料収入の合計額の 50/100 の額とする。

(月間受講料)

⑥ 月間受講料とは、当該施設で行われる 1 講座 1 か月あたりの受講料（受講料に等級区分がある場合は、その算術平均額とする。有料と無料が混在する場合は、無料は含めない。）をいう。ただし、1 回の教授ごとに受講料を支払う場合は、4 回の受講料を月間受講料とみなす。

(講座 1 回の受講料)

⑦ 講座 1 回の受講料とは、1 回の教授ごとに支払う受講料をいう。ただし、1 回の教授ごとに支払う受講料の定めがない場合は、当該講座の受講料（受講料に等級区分がある場合は、その算術平均額とする。有料と無料が混在する場合は、無料は含めない。）を開講回数で除して得た額とする。

(受講者数)

⑧ 受講者数とは、備考⑫を除き、当該施設で開講している各講座の定員の合計をいう。

(著作物 1 曲 1 回ごとの使用料)

⑨ 著作物 1 曲 1 回ごとの使用料とは、著作物の全部又は一部を 1 回利用するごとの使用料をいう。

(使用料計算の特例)

⑩ (1)の規定を適用する場合において、開業年度の使用料は、最初の講座を開講した日から一定期間の受講料収入の合計額を、開講から年度末までの期間の受講料収入の合計額に換算した額の範囲内で、利用状況等を参酌した受

講料収入算定基準額により算定する。

- ⑪ (1)の規定を適用する場合において、使用料を算定する年度の前年度において当該施設の営業期間が1年に満たないときの使用料は、当該営業期間の受講料収入の合計額を年間の受講料収入の合計額に換算した額の範囲内で、利用状況等を参酌した受講料収入算定基準額により算定する。

(歌謡教室における演奏等)

- ⑫ (1)及び(2)にかかわらず、専ら受講者に歌唱を教授する事業であつて、かつ、年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合の1施設あたりの月額使用料は、次のとおりとすることができる。

講座1回あたりの平均受講者数	月額使用料
5名まで	4,500円
10名まで	9,000円
30名まで	18,000円
50名まで	27,000円

講座1回あたりの平均受講者数が50名を超える場合の使用料は、50名までを超えるごとに、講座1回あたりの平均受講者数が「50名まで」の場合の金額に、講座1回あたりの平均受講者数が「10名まで」の場合の金額を加算した額とする。

(その他)

- ⑬ 音楽教室における演奏等のうち、利用の態様に鑑み本規定により難しい場合の使用料は、利用者と協議のうえ、本規定に定める使用料額の範囲内で決定する。

附則

(実施の日)

この使用料規程のうち、第2章 第1節 4カラオケ施設における演奏等、10音楽教室における演奏等の規定については、平成30年3月7日から実施する。